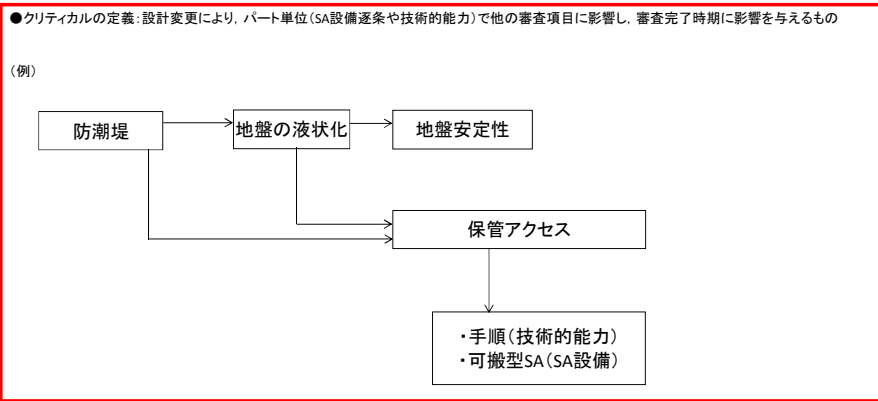


今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査委会実績回数 ^{※1}	審査委会至近実績	準備状況 (%) ^{※2}	平成29年												平成30年												備考	変更事由																				
					10月				11月				12月				1月				2月				3月						4月				5月				6月				7月				8月			
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9			16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27
SA	原子炉格納容器限界温度・限界圧力	1回	H30.6.28	100																									格納容器破損防止と併せて説明	—																				
	炉心損傷防止	9回	H30.6.12	100	[進捗バー]																								津波PRAの評価結果(常設注水ポンプ採用等)の反映	—																				
	全交流動力電源喪失時に逃がし安全弁閉鎖 差が重畳する事故(TBP)時の対策について	1回	H30.6.12	100	[進捗バー]																								—	—																				
	中小破断LOCA時の破断面積について	1回	H30.5.17	90	[進捗バー]																								—	—																				
	格納容器破損防止	6回	H30.7.5	90	[進捗バー]																								代替循環冷却系のSA化に伴う新規評価のため 解析入力データの誤りの原因と水平展開	—																				
	格納容器下部への初期水張り水位の適切性 について	0回	—	—	[進捗バー]																								—	—																				
	シエルアタックを除外する理由について	0回	—	—	[進捗バー]																								—	—																				
	コリウムシールドの設置について	0回	—	—	[進捗バー]																								—	—																				
	使用済燃料貯蔵設備(使用済燃料貯蔵槽内の燃料 損傷防止対策)	3回	H30.5.17	100	[進捗バー]																								炉心損傷防止と併せて説明	—																				
	停止時(運転停止中)原子炉における燃料損傷防止 対策)	2回	H30.2.8	100	[進捗バー]																								—	—																				
シナケンス選定(PRA)		11回	H30.6.7	100	[進捗バー]																								Seハザード評価と併せて説明	—																				
	津波レベル1PRAより抽出したシナケンスグル ープ	3回	H30.5.8	100	[進捗バー]																								—	—																				
解析コード	(BWR電力会同で ご説明済)	4回	H27.10.15		[進捗バー]																																													
プラント	SA共通				※耐震⑤1.1~3地盤の液状化																																													
	重大事故等対処設備他(43条他)	0回	—	100	[進捗バー]																								関連:有効性評価	—																				
	保管アクセス(43条他)	2回	H30.5.22	90	[進捗バー]																								関連:耐震⑤ 地盤の液状化 新たに設定したSslに対する評価反映 防潮堤構造成立性の評価反映	—																				
	周辺斜面の安定解析について	1回	H30.5.22	90	[進捗バー]																																													
	共通事項(1.0)	0回	—	95	[進捗バー]																								先行プラント審査による評価を反映のため	—																				
	SA設備逐条(44条~59条)	12回	H30.6.12	90	[進捗バー]																								関連:43条保管アクセス, 有効性評価 柏崎刈羽6・7号炉の技術的知見等反映のため	—																				
	注水用ヘッダの運用について	2回	H30.5.17	90	[進捗バー]																								—	—																				
	SA設備逐条(60条~62条)	6回	H30.6.12	90	[進捗バー]																								保管場所見直しに伴う評価反映のため	—																				
	技術的能力(1.1~1.19)	0回	—	95	[進捗バー]																								関連:43条保管アクセス 先行プラント審査による評価を反映のため	—																				
	技術的能力(2.1)	0回	—	80	[進捗バー]																								関連:DB, SA審査全般 関連審査および先行プラント審査による評価を反映のため	—																				
	有毒ガス防護に係る対応	1回	H30.5.10	80	[進捗バー]																								原子炉制御室・緊急時対策所の原住性として示す	—																				
	新たな規制項目への 対応	火山影響等発生時の体制整備等に係る措置	1回	H30.6.28	100	[進捗バー]																								「外部事象(第6条):火山」にて, 検討状況の説明を実施 詳細は保安規定の審査で別途説明	—																			
地震時の燃料被覆管閉じ込め機能		0回	—	—	[進捗バー]																								—	—																				
格納容器の過圧破損を防止するための格納容器代 替装置冷却系		1回	H30.6.28	100	[進捗バー]																								関連:有効性評価	—																				
使用済燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による悪 影響を防止するための対策		1回	H30.5.17	100	[進捗バー]																								—	—																				
原子炉制御室の居住性を確保するためのブローア ウトパネルの閉止機能		1回	H30.5.17	100	[進捗バー]																								原子炉制御室又は炉心損傷防止(ISLOCA)と併せて説明	—																				
全交流動力電源喪失を想定した事故シナケンスの 分割		1回	H30.6.12	100	[進捗バー]																								—	—																				
添付書類5(技術的能力)	0回	—	—	[進捗バー]																								体制・教育・有資格者数等を説明	—																					

※1 平成26年1月から本審査委会までの実績
※2 実施中の評価, 先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定



女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐震関係）（前のご説明(2018.7.5審査会合)からの変更点）

別紙1

平成30年7月10日
東北電力株式会社

準備状況 (%)※1	平成29年												平成30年												備考	変更事由																					
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12			19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6
耐震設計方針（第4.39条）																										【凡例2】																					
① 基準適合（共通）																										【凡例】																					
1	第4条:地震による損傷の防止	90%																									☆	各論点、各条文に係る審査の反映	—																		
1	耐震設計方針本文	100%																									☆	—	—																		
2	設計用地震力	85%																									☆	動的機能維持に係る技術基準解釈等の改訂の反映	—																		
3	動的機能維持の評価	100%																									☆	—	—																		
4	弾性設計用地震動Sd・静的地震力による評価	90%																									☆	各条文に係る審査の反映	—																		
5	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討	85%																									☆	SA設備審査の反映	—																		
6	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	80%																									☆	先行プラントの審査状況を踏まえ網羅的な整理	—																		
7	屋外重要土木構造物の耐震評価における断面選定の考え方	80%																									☆	先行プラントの審査状況を踏まえ再整理	—																		
2	第39条:地震による損傷の防止	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
1	耐震設計方針本文	85%																									☆	SA設備審査の反映	—																		
2	重大事故等対処設備の設備分類	90%																									☆	SA設備審査の反映	—																		
3	設計用地震力	85%																									☆	SA設備審査の反映	—																		
4	重大事故等対処施設の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針	95%																									☆	SA設備審査の反映	—																		
5	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	95%																									☆	有効性評価審査の反映	—																		
② 論点「既工認との差異（建物・構築物）」																																															
1	東北地方太平洋沖地震等による影響を踏まえた建屋耐震設計方法への反映	90%																									☆	建屋の初期剛性低下の要因分析等の詳細工程を見直し	—																		
1	初期剛性低下の傾向と要因分析	90%																									☆	追加実験結果等を踏まえた要因分析、モデル策定のため	—																		
2	初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定	80%																									☆	追加実験結果等を踏まえた要因分析、モデル策定のため	—																		
3	設備への影響検討	80%																									☆	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み	—																		
4	設計体系に反映すべき事項	100%																									☆	地震応答解析モデルに統合	—																		
2	建屋地震応答解析における入力地震動の算定	80%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
3	弾塑性解析の適用	80%																									☆	建屋モデルを含めた不確かさの検討のため	—																		
1	応力解析モデル（建物・構築物）への弾塑性解析の適用	80%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
2	原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用	80%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
③ 論点「既工認との差異（屋外重要土木構築物）」																																															
1	解析手法の精緻化	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
1	時刻歴応答解析の適用	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
2	限界状態設計法の適用	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
2	解析モデルの精緻化	90%																									☆	—	—																		
1	3次元非線形モデルの適用	75%																									☆	関連：耐震④:3.5電巻防護ネット	—																		
3	後施工せん断補強工法の適用	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
④ 論点「既工認との差異（機器・配管）」																																															
1	原子炉本体の基礎の復元力特性の変更	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
2	使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数の変更	100%																									☆	建屋との連成解析結果の反映	—																		
3	機器・配管系設備に関するその他手法の相違点	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
1	サブプレッシャチェンバ内部水質量の考え方変更	90%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
2	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	70%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
3	燃料交換機への非線形時刻歴応答解析の適用	80%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
4	海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	75%																									☆	耐震設計方針に統合	資料2-3-4参照																		
5	電巻防護ネットへのゴム支承の適用	100%																									☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映	—																		
6	立形ポンプの解析モデルの精緻化	90%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
7	最新知見として得られた減衰定数の適用	90%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
8	水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根（SRSS）法による組合せ	90%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
9	鉛直方向応答解析モデルの追加	90%																									☆	耐震設計方針に統合	—																		
4	機器・配管系設備の既工認からの構造変更	90%																									☆	改造工事の最新状況反映	—																		
⑤ 地盤の液状化																																															
1	地盤の液状化	90%																									☆	関連：耐震⑤:1.4構造物評価、耐津波②防漏堤の構造成立性	—																		
1	液状化評価の基本方針	90%																									☆	先行プラント審査による評価等を反映	—																		
2	液状化強度試験とその代表性評価	90%																									☆	関連：耐震⑤:1.4構造物評価、耐津波②防漏堤の構造成立性	—																		
3	液状化強度特性の設定とその保守性評価	90%																									☆	先行プラント審査による評価等を反映	—																		
4	構造物評価（有効応力解析）	75%																									☆	関連：耐震⑤:1.1～3地盤の液状化	—																		

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐津波関係）（前のご説明（2018.7.5審査会合）からの変更点）

別紙2

平成30年7月10日
東北電力株式会社

準備状況 (%) ^{※1}	平成29年												平成30年												備考	変更事由																															
	10月					11月					12月					1月					2月						3月					4月					5月					6月					7月					8月					
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9			16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27											
耐津波設計方針(第5.40条)																																																									
① 基準適合(共通)																																																									
I. はじめに	90%																																																	☆							
II. 耐津波設計方針について																																																									
1 基本事項																																																									
1 津波防護対象の選定	90%																																																	☆							
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等	90%																																																	☆							
3 基準津波による敷地周辺の週上・浸水域	70%																																																	☆							
4 入力津波の設定	70%																																																	☆							
5 水位変動・地盤変動の評価	90%																																																	☆							
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																																	☆							
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																																									
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																	☆							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	80%																																																	☆							
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	80%																																																	☆							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																	☆							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																	☆							
6 津波監視	95%																																																	☆							
7 津波影響軽減施設	70%																																																	☆							
3 重大事故等対処施設の津波防護方針																																																									
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																	☆							
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	70%																																																	☆							
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	70%																																																	☆							
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																	☆							
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																	☆							
6 津波監視	90%																																																	☆							
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																																									
1 津波防護施設の設計	80%																																																	☆							
2 浸水防止設備の設計	80%																																																	☆							
3 津波監視設備の設計	95%																																																	☆							
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																																	☆							
② 論点「防潮堤の構造成立性」																																																									
1 防潮堤の構造成立性																																																									
1 設計方針	90%																																																	☆							
2 構造成立性	70%																																																	☆							
③ 論点「取放水路からの流入防止」																																																									
1 取放水路からの流入防止																																																									
1 設計方針	80%																																																	☆							
2 構造成立性	70%																																																	☆							

※1 実施中の評価。先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定